



2025年3月28日

各 位

会社名 株式会社カーリット
(URL : <https://www.carlithd.co.jp>)
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文
(コード番号 4275 東証プライム)
問合せ先 広報・IR推進室長 島田 拓
(TEL : 03-6893-7060)

カーリット、防衛関連製品用 固体推進薬の開発着手のお知らせ

株式会社カーリット（代表取締役社長：金子洋文、資本金：2,099百万円、以下、当社）は、従来から開発を進めていた宇宙ロケット固体推進薬に加え、防衛関連製品に使用される固体推進薬の開発に着手いたします。あわせて、事業化を見据えた設備投資計画にも着手いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件を含めた中長期的な当社成長計画については同日公開の「中期経営計画 Challenge2027」をご覧ください。

記

1. 固体推進薬の開発背景

当社が製造、販売する過塩素酸アンモニウムは、H-II A/BロケットやH3ロケットなどをはじめとした固体ロケットブースタ、また防衛関連製品の固体推進薬の主原料として用いられております。今後の需要増加を見込み、2023年から増産計画に着手しています。

この過塩素酸アンモニウムの更なる事業領域の拡大を目指し、同品を主原料とした固体推進薬の開発を進めています。2017年には、宇宙ロケットをターゲットとしたパイロットプラントを建設し、固体推進薬の製造技術について研究開発を進めてまいりました。

2. 固体推進薬の参入市場の拡大について

これまで当社が開発を進めていた固体推進薬は、宇宙ロケットをターゲットとしておりましたが、今後は防衛関連製品もターゲットに加え製品開発を進めてまいります。当社が長年培ってきた過塩素酸アンモニウムの生産技術、固体推進薬の開発実績を背景とし、中長期的な防衛関連製品の需要増加を見据え開発着手を決定いたしました。

今後は当社 赤城工場（群馬県渋川市赤城町）内の赤城研究所にて、宇宙ロケット関連と防衛関連の固体推進薬の開発を行います。現時点の予定では、2027年度に量産試作を開始、2028年度に製品化を目指しております。

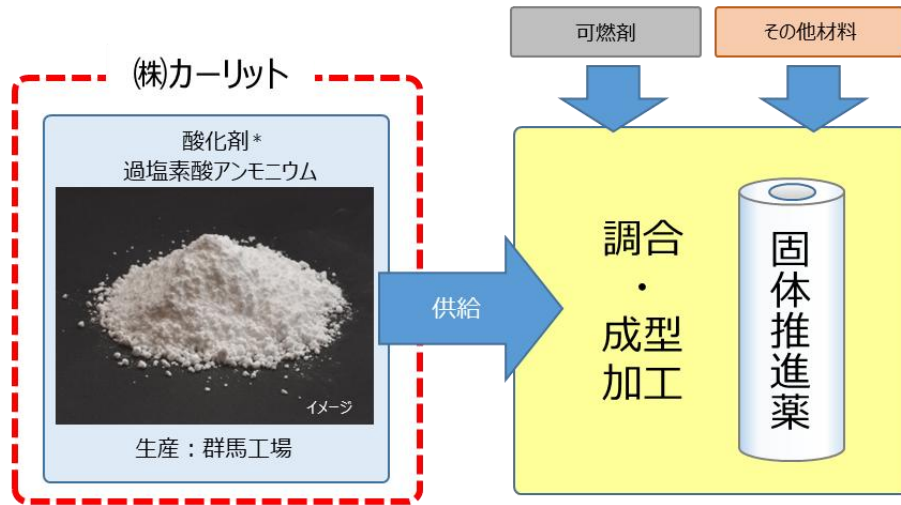
3. 設備投資について

事業化を見据えた固体推進薬の製造設備を当社 赤城工場内に新設いたします。製造設備に加え、検査設備や倉庫施設等の拡充も計画しており、総額80億円以上の投資額になると見込んでおります。現在、設備設計等を進めており、具体的に確定しましたら概要について改めて情報開示いたします。

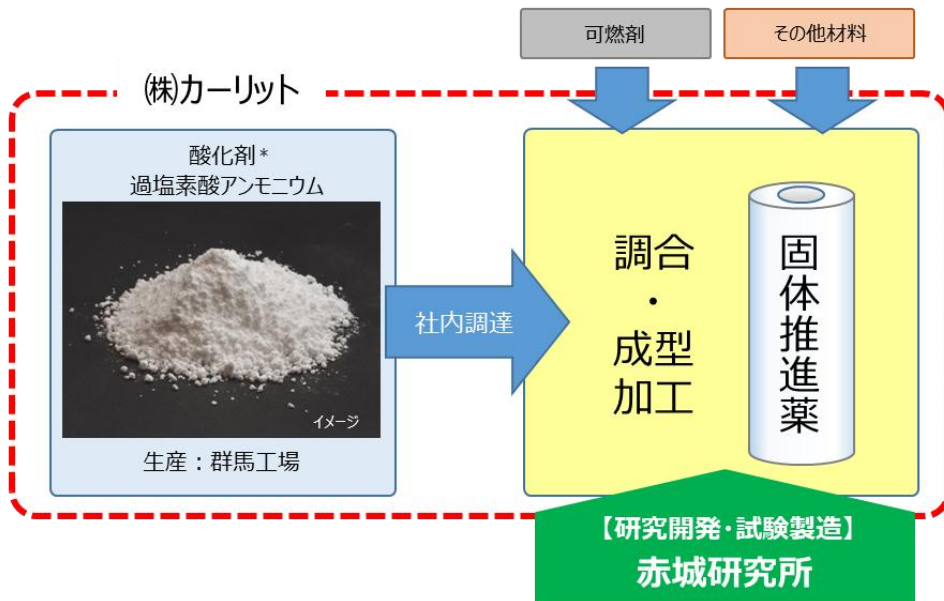
以上

【参考】 「過塩素酸アンモニウム」と「固体推進薬」の関係

① 現在の事業領域：原料供給（今後も継続）



② 新たに拡大を目指す領域：固体推進薬まで一貫生産



*酸化剤：短時間に多量の酸素を供給して燃料を一気に燃焼させ、膨大な推進力を得る機能を持ちます。